



明智光秀と 津島の豪族四家七名字の事

- ◆講師：元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生
- ◆日時：4月14日(土) 午後2時から3時30分
- ◆場所：一宮産業体育館 一宮市野口一丁目 6-22
3階 第1会議室
- ◆会費：500円

みな様、お友達ど
うし、お誘い合わ
せのうえ、
ご参加ください！

津島天王祭の由来のひとつに、南北朝時代、後醍醐天皇の曾孫、良王親王が津島に逃れてきた際、南朝方の津島の四家七名字といわれる豪族たちが、北朝方の佐屋村の台尻大隈守という武士を船遊びに事寄せて討ち取ったのが始まりというものがあります。

四家七名字というのは、後醍醐天皇の皇子宗良親王と、その子伊良親王に随従し諸国を転戦した後、津島に落ち着いた11人の武将たちです。

その11人の筆頭大橋氏と、美濃の名流明智氏は、深い縁で結ばれた尊王の家柄なのだとか。親王達と四家七名字の武将たちの転戦を描いた古文書「浪合記」をもとに、天皇の上にとどまらなかった信長を光秀が討った背景を、田中先生がお話ししていただきます。



講師プロフィール

昭和 36 年愛知教育大学 数学科卒業
平成 5 年一宮市立北方中学校校長
平成 7 年三重大学サンガ・ウゴイ・カサディ教授主催「アフリカ村おこし運動」理事
平成 11 年一宮市青少年センター カウンセラー
愛知教育委員会「食に関する指導推進事業連絡会議」議長
一宮信用金庫育英会 理事
平成 14 年 ICC ケーブルテレビ「ディリーショット」で一宮市などの文化・歴史の紹介
一宮市北方町「加藤家文書」、「宝行当山記録」など、古文書の発掘、解読多数

いちのみや大学第 38 回講座

「明智光秀と津島の豪族四家七名字の事」

- ◆日時：1月14日(土) 午後2時から3時30分
- ◆場所：一宮産業体育館 一宮市野口一丁目 6-22
3階 第1会議室
- ◆会費：500円
- ◆お問合せ・お申込み：

(要予約ではありませんが、できましたらご連絡していただけると助かります)

ホームページから <http://ichinomiyaigaigaku.com/>

または、いちのみや大学事務局(有限会社人の森 内)

メール info@ichinomiyaigaigaku.com

電話 080-4227-8641 / FAX 0586-72-5445



◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮の街をまるごとキャンパスにし、
一宮にこんなすばらしい人がいることの紹介
一宮近辺の郷土の歴史・文化の勉強
一宮の自慢の場所の見学など
ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

◆これからの講座の予定は？

| 月日 | 曜日 | 場所 | 講師 | 内容 |
|---------------|----|-------|------------------------|-----------------------|
| 4月14日 14時～ | 土 | 産業体育館 | 元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生 | 明智光秀と 津島の豪族四家七名字の事 |
| 5月、6月 未定 | | | | |
| 7月 | 土 | 産業体育館 | 元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生 | |

これまでに開催した講座： デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、プラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

◆いちのみや大学の講座は、どこで知ることができるの？

・いちのみや大学ホームページ

<http://ichinomiyaigaiku.com> で、学生登録(無料)をしていただくと、新しい講座の案内を月1回、メールでお知らせします。

登録方法→学生登録は、いちのみや大学ホームページの上部にある**学生登録**のボタンをクリックし、学生登録のページで、メールアドレス、お名前、ユーザー名(半角英数字で4～10字)、パスワードなどを登録(受講者登録)してください。

受講したい時は、ログインして、受講したい講座名をクリックし、講座詳細のページの下にある**受講予約を申し込む**のボタンを押すと、それだけで受講の申し込みができます。

・**チラシ** 市役所(各庁舎)、市民活動支援センター、織部亭、野の花、三八屋、ちゃらん家馬宿、ヘアーシャンティなどで配布

・中日新聞など

中日新聞 『おでかけガイド』(金曜日に掲載)

中日新聞ミニコミ紙 『タウンニュース』(毎月1日発行 一宮北部専売所 末広、富士、貴船学区方面)、『ほっと！タイムス』(毎月15日発行 一宮市西部、萩原、戸塚、大和、西御堂地区販売店)『きたがたくらぶ』(毎月1日発行 北方地区販売店)などに掲載しています。